

令和5年度 現代の国語 年間計画

| 科目 | 単位数 | 指導学年 | 使用教科書 |
|-------|--|------|-----------------|
| 現代の国語 | 2単位(70時間) | 1学年 | 第一学習社『新編 現代の国語』 |
| 科目の目標 | 1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 2. 論理的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | | |

| 単元名 | 主な単元の目標 (評価規準) | 教材 | 領域(時間) | | |
|---------|---|-----------------|--------------|---------|---------|
| | | | A(話すこと・聞くこと) | B(書くこと) | C(読むこと) |
| 新しい出会い | <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えとともに、表現の仕方を工夫しようとしている。(B(1)ウ) 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えとともに、表現の仕方を工夫すること。(B(1)ウ) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(知(1)ウ) | 「未知」はいくらでもある | | 6 | |
| 言葉が開く世界 | <ul style="list-style-type: none"> 考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの状況に応じて話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。(A(1)オ) 考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの状況に応じて話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。(A(1)オ) 話し言葉と書き言葉の特徴をふまえ、わかりやすさや敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いを理解し、使うこと(知(1)イ) | 言語としてのピクトグラム | 10 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫しようとしている。(B(1)ウ) 自分の考えが的確に伝わるよう、説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫すること。(B(1)ウ) 言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解すること。(知(1)ア) | 言葉の海のオノマトペ | | 8 | |
| 人間の風景 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えとともに、表現の仕方を工夫しようとしている。(B(1)ウ) 自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えとともに、表現の仕方を工夫すること。(B(1)ウ) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(知(1)ウ) | 十六歳のとき | | 8 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしようとしている。(B(1)エ) 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。(B(1)エ) 文、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解すること。(知(1)オ) | 臆病な詩人、街へ出る | | 10 | |
| 社会と人間 | <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。(C(1)ア) 文章の種類を踏まえて、内容や構成などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。(C(1)ア) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。(知(2)ア) | 弱いロボットの誕生 | | | 6 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めようとしている。(C(1)イ) 目的に応じて内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めること。(C(1)イ) 表現するために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること(知(1)エ) | 人はなぜ仕事をするのか | | | 6 |
| 現代と社会 | <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。(A(1)ア) 目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。(A(1)ア) 話し言葉や書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使うこと。(知(1)イ) | イースター島になぜ森がないのか | 10 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握しようとしている。(C(1)ア) 文章の種類を踏まえて、内容や構成などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。(C(1)ア) 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること(知(2)イ) | 「材料化学」のゆくえ | | | 6 |

令和5年度現代の国語 年間計画

| 科目 | 単位数 | 指導学年 | 使用教科書 |
|-------|--|------|-----------------|
| 現代の国語 | 2単位(70時間) | 1学年 | 数研出版 『現代の国語』 |
| 科目の目標 | 1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 2. 論理的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | | |

| 単元名 | 主な単元の目標 (評価規準) | 教材 | 領域(時間) | | |
|--------------|---|------------------------|--------------|---------|---------|
| | | | A(話すこと・聞くこと) | B(書くこと) | C(読むこと) |
| 書き手の意図をつかむ | <ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、構成、展開を的確にとらえ、筆者の主張、文章の要点を読み取ろうとしている。(C(1)ア) 文章を読んで、構成、展開を的確にとらえ、筆者の主張、文章の要点を読み取る。(C(1)ア) 話し言葉や書き言葉の特徴や表現の特色をふまえ、わかりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。(知(1)イ) | 世界をつくり替えるために | | | 6 |
| | | ものづくり | | | 5 |
| 文章の展開を把握する | <ul style="list-style-type: none"> 実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を整理して伝え合う内容を検討しようとしている。(A(1)ア) 実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を整理して伝え合う内容を検討すること。(A(1)ア) 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解すること。(知(1)オ) | 時間とは何か | 6 | | |
| 対比を読み取る | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。(B(1)ア) 目的に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。(B(1)ア) 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること(知(1)エ) | 水の東西 | | 7 | |
| | | 里山物語 | | 5 | |
| コミュニケーションと言葉 | <ul style="list-style-type: none"> 読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を工夫しようとしている。(B(1)イ) 読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。(B(1)イ) 主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(知(1)ウ) | 世間話はなぜするか | | 5 | |
| 日常の中の文章 | <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしようとしている。(B(1)ア) 目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。(B(1)ア) 話し言葉や書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使うこと。(知(1)イ) | 広告コピーを書く表現の工夫を読み取る(新聞) | | 6 | |
| 言葉の動きをとらえる | <ul style="list-style-type: none"> 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの状況に応じて表現や進行など話し合いの仕方を工夫しようとしている。(A(1)オ) 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの状況に応じて表現や進行など話し合いの仕方を工夫すること。(A(1)オ) 言葉には認識や思考を支える動きがあることを理解すること。(知(1)ア) | 語感トレーニング | 6 | | |
| | | コインは円形か | 5 | | |
| 書き手の考えを比較する | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。(C(1)イ) 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。(C(1)イ) 主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(知(1)ウ) | 科学と非科学 | | | 6 |
| 根拠を読み取る | <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。(B(1)ウ) 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。(B(1)ウ) 言葉には、認識や思考を支える動きがあることを理解すること(知(1)ア) | 「差」という情報 | | 7 | |
| | | 「わらしべ長者」の経済学 | 6 | | |

令和5年度 言語文化 年間計画

| 科目 | 単位数 | 指導学年 | 使用教科書 |
|-------|--|------|---------------|
| 言語文化 | 2単位(70時間) | 1学年 | |
| 科目の目標 | 1. 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化について理解する。 2. 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 3. 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | 園芸科 | 第一学習社『新編言語文化』 |

| 単元名 | 主な単元の目標 (評価規準) | 教材 | 領域(時間) | |
|----------|--|--|---------|---------|
| | | | A(書くこと) | B(読むこと) |
| 小説を読む(一) | ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方などを捉え、内容を解釈しようとしている。(B(1)イ) ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方などを捉え、内容を解釈すること。(B(1)イ) ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(知(1)ウ) | 島の少年一船 | | 5 |
| 古文入門 | ・文章の種類を踏まえて、内容について叙述を基に的確に捉えようとしている。(B(1)イ) ・文章の種類を踏まえて、内容について叙述を基に的確に捉えること。(B(1)イ) ・古典の正解に親しむために、古典を読むための必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解すること(知(2)ウ) | 鳩と蟻のこと『伊曾保物語』 | | 4 |
| 漢文入門 | ・文章の構成や表現の特色について理解しようとしている。(B(1)ウ) ・文章の構成や表現の特色について理解すること。(B(1)ウ) ・古典の正解に親しむために、古典を読むための必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること(知(2)ウ) | 訓読に親しむ(一) ～(二) | | 5 |
| 小説を読む(二) | ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を深めようとしている。(B(1)エ) ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を深めること。(B(1)エ) ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。(知(1)エ) | 羅生門 | | 7 |
| 古文入門 | ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方などを捉え、内容を解釈しようとしている。(B(1)イ) ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方などを捉え、内容を解釈すること。(B(1)イ) ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。(知(2)ウ) | 一休ばなし | | 6 |
| 故事成語 | ・作品や文章の成立した背景をふまえ、内容音解釈を深めようとしている。(B(1)エ) ・作品や文章の成立した背景をふまえ、内容音解釈を深めること。(B(1)エ) ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。(知(2)イ) | 五十歩百歩 | | 5 |
| 詩の楽しみ | ・自分の体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現しようとしている。(A(1)ア) ・自分の体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現すること。(A(1)ア) ・目的に・表現するために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること(知(1)エ) | 道程 | 3 | |
| 短歌と俳句 | | 大切な言葉 手毬歌 | 3 | |
| 随筆を読む | ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(B(1)オ) ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。(B(1)オ) ・言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること(知(2)エ) | はしたなきもの『枕草子』 | | 5 |
| 漢詩の鑑賞 | ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。(B(1)エ) ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。(B(1)エ) ・日本の文化と外国の文化との関係について理解すること。(知(2)ア) | 静夜思 送元二使安西 春望 香炉峰下新卜山居 草堂初成偶東壁 | | 9 |

| | | | | |
|--------------|---|-----------|---|---|
| 小説を読む (三) | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の構成や語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。(A(1)イ) ・自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の構成や語句などの表現の仕方を工夫すること。(A(1)イ) ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。(知(1)イ) | よだかの星 | 5 | |
| 和歌と俳諧 | <ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、日本の言語文化について自分の考えをもととしている。(B(1)オ) ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、日本の言語文化について自分の考えをもつこと。(B(1)オ) ・古典に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などを理解することこと。(知(1)イ) | 万葉・古今・新古今 | | 8 |
| 寓話・小話 | <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。(B(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、内容や展開などについて叙述を基に的確に捉えること。(B(1)ア) ・古典に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などを理解することこと。(知(1)イ) | 梟逢鳩 | | 5 |

令和5年度 言語文化 年間計画

| 科目 | 単位数 | 指導学年 | 使用教科書 |
|-------|---|------|------------|
| 言語文化 | 2単位(70時間) | 1学年 | 数研出版『言語文化』 |
| 科目の目標 | 1. 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 2. 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 3. 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | 普通科 | |

| 単元名 | 主な単元の目標 (評価規準) | 教材 | 領域(時間) | | |
|-------------|---|------------------------|--------------|---------|---------|
| | | | A(話すこと・聞くこと) | B(書くこと) | C(読むこと) |
| 説話集を読む楽しみ | <ul style="list-style-type: none"> 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深める。 | 児のそら寝 | | | 5 |
| 日本語の中に生きる漢文 | <ul style="list-style-type: none"> 作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方や考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。 作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方や考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。 わが国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 | 格言 | | | 5 |
| 故事と成語 | <ul style="list-style-type: none"> 作品や文章の性散るした背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。 作品や文章の性散るした背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 | 漁夫の利 虎の威を借る | | | 6 |
| 受け継がれる古典 | <ul style="list-style-type: none"> 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関連を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関連を踏まえ、内容の解釈を深めること。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること | 羅生門 | | | 5 |
| 現代にも生きる教え | <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 わが国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深めること。 | 徒然草「ある人、 弓射ることを習ふに」 | | | 5 |
| 漢詩を味わう | <ul style="list-style-type: none"> 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあること。 | 孟浩然、李白 王維、杜甫 | | | 7 |
| 「ことば」を吟味する | <ul style="list-style-type: none"> 作品の内容や解釈を踏まえ、わが国の言語文化について自分の考えを持つこと。 作品の内容や解釈を踏まえ、わが国の言語文化について自分の考えを持つこと。 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 | 舟を編む | | | 3 |
| 昔と変わらない人の心 | <ul style="list-style-type: none"> 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。 | 伊勢物語 「筒井筒」 | | | 6 |
| 論語のことば | <ul style="list-style-type: none"> 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つこと。 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 | 論語 | | | 6 |
| 語感を磨く | <ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価しようとしている。 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 | 側転と三夏 | | | 3 |
| 和歌が作り出す世界 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料を吟味して表現したいことを明確にしようとしている。 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料を吟味して表現したいことを明確にすること。 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。 | 三大和歌集 | | 4 | |
| 詩歌を味わう | <ul style="list-style-type: none"> 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料を吟味して表現したいことを明確にしようとしている。 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料を吟味して表現したいことを明確にすること。 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。 | サーカス(詩) 短歌 俳句 | | 6 | |
| 先人を思う旅 | <ul style="list-style-type: none"> 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深めること。 | おくのほそ道 「平泉」 | | | 5 |
| 地域のことば | <ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えようとしている。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 | とんかつ | | | 2 |
| 「ことば」の力 | <ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価しようとしている。 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 | 葉桜と魔笛 | | | 2 |

令和5年度 国語表現 年間計画

| 科目 | 単位数 | 指導 学年 | 使用教科書 |
|-------|--|-------|-------------|
| 国語表現 | 2単位(70時間) | ②・3学年 | |
| 科目の目標 | 1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 2. 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。 3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | 園芸科 | 大修館書店『国語表現』 |

| 単元名 | 主な単元の目標 (評価規準) | 教材 | A(話すこと 聞くこと) | | B(書くこと) | |
|-----------|--|---------------------------|-----------------|--|---------|--|
| | | | | | | |
| 伝える・伝え合う | <ul style="list-style-type: none"> 目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、伝え合う内容を検討しようとしている。(A(1)ア) 目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること。(A(1)ア) 自分の思いや考えを表現するために必要な語彙を増やすこと。(知(1)ウ) | 自己紹介ゲーム | 2 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 相手の反応に応じて言葉を選んだりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫しようとしている。(A(1)エ) 相手の反応に応じて言葉を選んだりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること。(A(1)エ) 言葉には自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解すること。(知(1)ア) | 言葉のストレッチ体操 | 6 | | | |
| 言葉と出会う | <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを的確に描写したり説明したりするために、表現の仕方を知ろうとしている。(B(1)オ) 自分の思いや考えを的確に描写したり説明したりするために、表現の仕方を知ること。(B(1)オ) 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深めること。(知(1)イ) | レッスン1～5 | | | 7 | |
| メディアを駆使する | <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしようとしている。(B(1)ア) 目的や意図に応じて、適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確すること。(B(1)ア) 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。(知(1)エ) | 通信文を使い分ける | | | 5 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 相手の反応や状況に応じて言葉を選んだりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫しようとしている。(A(1)エ) 相手の反応や状況に応じて言葉を選んだりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること。(A(1)エ) 話し言葉と書き言葉の特徴や役割を理解し、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けること。(知(1)イ) | 電話をつかひこなす | 3 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察しようとしている。(A(1)エ) 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。(A(1)エ) 話し言葉や書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けること。(知(1)イ) | 電子メールを活用しよう | 3 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行のための発言をしたりするなど、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。(A(1)キ) 互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行のための発言をしたりするなど、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。(A(1)キ) 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。(知(1)エ) | ネット社会との付き合い方 | 6 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行のための発言をしたりするなど、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。(A(1)キ) 互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行のための発言をしたりするなど、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。(A(1)キ) 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。(知(1)エ) | ネットを活用した情報収集 | 3 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行のための発言をしたりするなど、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとしている。(A(1)キ) 互いの主張や論拠を吟味したり、話し合いの進行のための発言をしたりするなど、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。(A(1)キ) 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。(知(1)エ) | メディアと情報 | 6 | | | |
| 表現を楽しむ | <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを明確にし、的確に描写したりするなど表現の仕方を工夫しようとしている。(B(1)オ) 自分の考えを明確にし、的確に描写したりするなど表現の仕方を工夫すること。(B(1)オ) 自分の考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、実際に使うことで、語感を磨き語彙を豊かにすること。(知(1)ウ) | 言葉で遊ぶ | | | 5 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 論点を明確にして自分の考えと比較しながら危機、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)オ) 論点を明確にして自分の考えと比較しながら危機、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりすること。(A(1)オ) 言葉には自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解すること。(知(1)ア) | 無人島で生き残れ | 6 | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、表現の仕方を工夫しようとしている。(B(1)ク) 読み手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、表現の仕方を工夫すること。(B(1)ク) 自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、実際に使うことで語彙を豊かにすること。(知(1)ウ) | 日常生活の正しい過ごし方—ユーモアトリセツを書こう | | | 9 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、実社会の問題に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしようとしている。(B(1)ア) 目的や意図に応じて、実社会の問題に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にすること。(B(1)ア) 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めること。(知(1)エ) | 魅力的なポスターを作ろう | | | 9 | |

令和5年度 論理国語 年間計画

| 科目 | 単位数 | 指導 学年 | 使用教科書 |
|-------|---|-------|--------------------|
| 論理国語 | 2単位(70時間) | 2学年 | 大修館書店 『新編 論理国語』 |
| 科目の目標 | 1. 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 2. 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | 普通科 | |

| 単元名 | 主な単元の目標 (評価規準) | 教材 | | |
|-----------|---|---------------------|---------|---------|
| | | | A(読むこと) | B(書くこと) |
| 論理と出会う | <ul style="list-style-type: none"> 内容や構成、論地の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握しようとしている。(B(1)ア) 内容や構成、論地の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握すること。(B(1)ア) 論証したり学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことができる。(知(1)イ) | 「論理的な人」とは どういう人か | | 7 |
| | | 「論理」への第一歩 | | 2 |
| 具体と抽象 | <ul style="list-style-type: none"> 内容や構成、論地の展開などについて叙述を基に的確に捉え、論点を明確にしようとしている。(B(1)ア) 内容や構成、論地の展開などについて叙述を基に的確に捉え、論点を明確にすること。(B(1)ア) 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。(知(1)イ) | ウサギの耳はなぜ長い? | | 8 |
| 対比をとらえる | <ul style="list-style-type: none"> 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、論理的展開を工夫しようとしている。(A(1)ウ) 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、論理的展開を工夫すること。(A(1)ウ)。 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めること。(知(1)ウ) | 米の種類と食文化 | 2 | |
| | | 対話の精神 | 7 | |
| 主張をつかむ | <ul style="list-style-type: none"> 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性を吟味して内容を解釈しようとしている。(B(1)ウ) 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性を吟味して内容を解釈すること。(B(1)ウ) 主張とその前提など情報と情報との関係について理解を深めること。(知(2)ア) | 文化としての科学 | | 3 |
| | | 「考える葦」であり続ける | | 7 |
| 統計資料を活用する | <ul style="list-style-type: none"> 関連する資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めようとしている。(B(1)オ) 関連する資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。(B(1)オ) 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解をふかめ使うこと。(知(2)イ) | 量の時代から質の時代へ | | 6 |
| | | 若者の「海外旅行離れ」は本当か? | | 7 |
| 比べて読む | <ul style="list-style-type: none"> 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえようとしている。(A(1)イ) 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえよること。(A(1)イ) 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めること。(知(2)ア) | 紙の本はなくならない | 7 | |
| | | 情報化と紙の本のゆくえ | 7 | |
| 論理的に書く | <ul style="list-style-type: none"> 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わるぶんしょうになるよう工夫しようとしている。(A(1)オ) 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わるぶんしょうになるよう工夫すること。(A(1)オ) 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。(知(1)ア) | 小論文① | 7 | |

令和5年度 古典探究 年間計画

| 科目 | 単位数 | 指導 学年 | 使用教科書 |
|-------|--|-------|----------------|
| 古典探究 | 2単位(70時間) | 2学年 | |
| 科目の目標 | 1. 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 2. 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方を知り、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 3. 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | 普通科 | 大修館書店『精選 古典探究』 |

| 単元名 | 主な単元の目標 (評価規準) | 教材 | A(読むこと) |
|----------|---|-------------------------------|---------|
| | | | |
| 説話 | ・書き手の考えや目的、意図を捉えて、内容を解釈しようとしている。(A(1)ウ) ・書き手の考えや目的、意図を捉えて、内容を解釈すること。(A(1)ウ) ・和歌のリズムや修辞などの表現の特色について理解を深めること。(知(1)イ) | 大江山いくのの道『十訓抄』 | 5 |
| | ・古典の作品を多面的・多角的な視点から評価することで、言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)ク) ・古典の作品を多面的・多角的な視点から評価することで、言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。(A(1)ク) ・古典の作品の種類とその特徴について理解を深めること。(知(1)イ) | 安倍晴明『今昔物語集』 | 6 |
| 故事・逸話 | ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしている。(A(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。(A(1)ア) ・古典などを読むことを通して、我が国の文化と中国などの外国の文化との関係について理解を深めること。(知(2)ア) | 知音 | 3 |
| 随筆 | ・古典の作品などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)カ) ・古典の作品などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ) ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。(知(2)エ) | 今日はそのことをなさんと思へど『徒然草』 | 3 |
| 近体詩 | ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)エ・カ) ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。(A(1)エ・カ) ・古典を読むために必要な訓読の決まりや日本の文化と中国の文化との関係について理解を深めること(知(2)ア・イ) | 竹里館 峨眉山月歌 登岳陽樓 咸陽城東樓 | 5 |
| 物語 | ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察しようとしている。(A(1)エ) ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。(A(1)エ) ・古典の作品に表れている、和歌の修辞などの表現の特色について理解を深めること。(知(2)ア) | 初冠『伊勢物語』 | 7 |
| 史伝 | ・歴史書であることを踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしている。(A(1)ア) ・歴史書であることを踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。(A(1)ア) ・歴史書における我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。(知(2)ア) | 鴻門の会(一)沛公 項王に見ゆ『史記』 | 9 |
| | | 鴻門の会(一)樊噲目を瞋らして項王を見る『史記』 | 9 |
| 日記 | ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)カ) ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。(A(1)カ) ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めること。(知(2)イ) | 門出『更級日記』 | 5 |
| 文章 | ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)カ) ・文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすること。(A(1)カ) ・形容詞を中心に、時間の経過による言葉の変化や古典が現代の言語の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。(知(2)ウ) | 桃花源記 | 5 |
| 和歌・歌謡・歌論 | ・和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、日本の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。(A(1)ク) ・和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、日本の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。(A(1)ク) ・和歌に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めること。(知(1)エ) | 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 | 7 |
| 思想 | ・書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について読み取ろうとしている。(A(1)ウ) ・書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について読み取ること。(A(1)ウ) ・古典の文の成文の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について誓いを深めること。(知(1)ウ) | 論語 老子 莊子 | 6 |

令和5年度 国語表現 年間計画

| | | | | | |
|-------|--------------------|-----|-----|-------------|---------|
| 教 科 | 国 語 | 単位数 | 2単位 | 学科・学年・コース・組 | 園芸科3年1組 |
| 使用教科書 | 『国語表現 改訂版』（教育出版） | | | | |
| 副教材等 | 『現代の語彙力向上の壺』（尚文出版） | | | | |

1 学習の到達目標

- ①「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習をバランスよく取り入れたうえで、「読むこと」との関連も視野に入れ、適切に表現する力を育成し、伝え合う力を高めるための、表現する側と表現される側と双方からの立場での実際的なコミュニケーション学習を中心に、高等学校でのすべての学習を支える基礎力を養う。
- ②伝え合う力を高めるための実際的なコミュニケーションを想定した学習を中心に、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、すすんで表現する態度を身につけ、社会性を高める。

2 主な評価方法 発表・提出物・作品応募

3 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

A：話すこと・聞くこと B：書くこと C：読むこと ★〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

| 月 | 単 元 名 | 領 域 | 主な学習活動（指導内容）と評価のポイント |
|----|------------------------|------------------|---|
| 4 | 対人コミュニケーション | A | ・客観的に自己を見つめ、他者に伝わるように説明をする。・相手の話を聞き、相手を理解する。 |
| | ことばに変える | B | ・速く正確に、書かれたとおりに書き写す・聞いた通りに書き取る ・メモを取る／メモで伝える／適切なメモ ・絵をことばにする／絵をことばに変える／部屋の間取りをことばに変える |
| 5 | | A | ・「書くこと」の中でも最も基礎的な「視写」「聴写」を行い、自己の表現能力の実態を把握する。 |
| | | B | ・情報を取捨選択し、整理・記録する為の基本的な技術を確認する。 ・絵や部屋の間取りをことばに変える作業を通して、ことばによる表現の可能性と限界を理解する。 |
| | 声の表現 | A | ・呼吸の仕組みと腹式呼吸の方法について理解し、発音に留意した声の出し方を学ぶ。 |
| | | ★ | ・声を発することの本質について深く考える。 ・古文の読み方についても基本となる留意事項を理解する。 ・文の構造を把握し、その意味を伝える音読の仕方、特に声の高低や間の工夫について学ぶ。 ・スピーチのための事前準備について理解し、実際に本番を体験することで、その方法を学ぶ。 ・他者の興味関心をひく文章の紹介と朗読の工夫について習熟する。 |
| 6 | コラムを書く、本を作る | B C | ・他者を喜ばせる文章の特性を知る。 ・コラムを読み、文章の魅力と効果的な手法を見つける。 ・よりよい文章表現を工夫し、コラムを書く。 ・基礎的な推敲の方法について理解する。（悪文チェック） ・「17歳のメッセージ」等への応募 |
| 7 | ことば遊びと創作 | A B C ★ | ・様々なことば遊びの体験を通して、言語表現の多様な側面を理解し、またその楽しさを知る。 ・川柳という伝統的な文芸ジャンルについて理解を深めるとともに、実作を通して、ことばの持つ批評性を知る。 ・情報化社会における広告の意味とその特徴を理解し、「広告ポスター」を作成することで情報を客観的にとらえ、批評的に読み取ることを学ぶ。 ・古典文学への誘いとして、俳句の季語を著名な句の鑑賞とともに学び、創作・作品応募する。 |
| 9 | ことばと人間 | A B C | ・ことばのもつ順序性からことばの性質について考える。 ・単語の順序が意味決定を左右することを理解する。 ・場面における意味決定について理解する。 ・語源カードを作成し、辞書・辞典を使って語源調べを行う。 ・挨拶や待遇表現のことが人間関係の調整にどのように働いているか考える。 ・ことばの可能性と危険性についてさまざまな角度から考える。また、ことばが人間の命を左右するほどの力を持つことを理解する。 |
| | 小論文・レポートを書く | B | ・発想・着想段階における拡散的思考を体験的に学ぶ。 ・小論文の構成について理解し、論理的文章力を実践的に高める。 ・根拠を明確にし、意見に説得力を持たせるとともに、対立意見を想定しながら、自らのそれを明確にし、論証の確かさを鍛える。 |
| 10 | | B | ・実際に小論文を執筆して文集にまとめると同時に、他者との相互批評をおして問題意識や認識を深める。 ・執筆以前の調査や研究の流れを理解し、集めた情報を適切に整理した上で、実際にレポートを書く。 |
| 11 | 会話・会議・発表 | A | ・書きことばと話しことばの相互変換作業によって、効果的なコミュニケーション技能に習熟する。 |
| | | C | ・家族会議の記録を題材に、意思決定・合意形成のための方法やルールについて理解を深める。 ・話しことばの対面コミュニケーションとしての長を生かした表現技術を学び、効果的な情景の提示方法などについても習熟する。 ・多数決という意思決定の原理について確認する。 |
| 12 | 自己との対話 | A | ・年譜作成をおして、時代や社会の動きと自己の体験を対比し、その関係について考える。 |
| | | B | ・モノに付着している「記憶」＝物語を読み取る。 ・過去の体験に結びつく材料を通して、埋もれていた「記憶」を言語化する。また、ズームアップの学習を通じて、自分の過去を記録することについての考えを深める。 ・ルソー『告白』を読み、自分史を書くことの意義と方法について考え、理解を深める。 ・自分史を読み合い、相互批評する。 |
| 1 | 世界との対話 | A | ・伝統的な手紙の形式を学び、場面に応じたことばの意味について理解を深める。 |
| | | ★ | ・形式にとらわれない手紙を書くことで、表現の可能性について考える。また、自分らしい手紙の姿を探る。 ・面接における必要な心構えと技能を身につける。 ・自己分析を行い、自己演出を意識して面接という場面における表現のあり方について理解を深めるとともに、表現方法を工夫する。 ・社会の問題に目を向け、実際に投書することで、自己のことばを社会に発信する表現行為そのものを実践する。 |
| 2 | 情報の海を航海する（メディアのリテラシーへ） | A | ・わたしたちの表現手段には実にさまざまなメディアが存在することを知り、その特性について理解する。 |
| | | C | ・同一の対象についての記事でもその表現内容に違いが現れることを理解し、メディアが立場の違いをメッセージに反映させていることを理解する。 ・情報を発信する場合には、読み手が理解しやすいようにメディアの特性を生かした編集上の工夫が必要であることを理解し、実際に表現してみる。 |

令和5年度 現代文B 年間指導計画

| | | | | | |
|---------|--|-----|-----------|-------------------|------------|
| 科目 | 現代文B | 単位数 | 2単位（70時間） | 学年 | 普通科 3年2・3組 |
| 使用教科書 | 精選現代文B（東京書籍） | | 副教材 | 高等学校 現代文B 学習課題ノート | |
| 学習の到達目標 | 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。 | | | | |

| 1学期 | | |
|---|----|------------------------------|
| 4月 | | |
| 1. 評論 1 ◆抽象的な事柄を論じた評論を読み、自分の考えを深める。 | 4 | 文学の未来 |
| ◆抽象的な事柄を論じた評論を読み、自分の考えを深める。 | 4 | 言語と記号 |
| 5月 | | |
| 2. 小説 1 ◆小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解する。 | 4 | 檸檬 文学への扉③ |
| ◆小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解する。 | 4 | スペインタイルの家 |
| 6月 | | |
| 3. 評論 2 ◆近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。 | 8 | 環境問題と孤立した個人 |
| 7月 | | |
| 3. 評論 2 ◆近代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。 | 6 | 鏡の中の現代社会 思考への扉③ |
| 2学期 | | |
| 9月 | | |
| 4. 随想 ◆随想を読み、そこに描かれた内容を表現に即して捉える。 | 3 | クレールという女 |
| ◆随想を読み、そこに描かれた内容を表現に即して捉える。 | 3 | 言葉を生きる |
| 9・10月 | | |
| 5. 評論 3 ◆叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。 | 6 | 社会の壊れる時——知性的 であるとはどういうことか |
| 10月 | | |
| 5. 評論 3 ◆叙述の仕方に注意して論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。 | 4 | 平気——正岡子規 |
| 10・11月 | | |
| 6. 小説 2 ◆文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解して味わう。 | 10 | 舞姫 |
| 12月 | | |
| 7. 評論 4 ◆筆者の述べる考察を論理的に理解し、物事の捉え方の幅を広げる。 | 6 | 他者の声 実在の声 |
| 3学期 | | |
| 1・2月 | | |
| 8. 小説 3 ◆現代小説を読み、場面や登場人物の設定と話の展開を捉える。 | 8 | トランジット |

令和5年度 古典B 年間指導計画

| | | |
|-----|-----|------------|
| 科目 | 単位数 | 学年 |
| 古典B | 2単位 | 普通科 3年2・3組 |

1 学習の到達目標など

| | |
|-------------|---|
| 学習の到達目標 | 古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。 |
| 使用教科書・副教材など | 『精選古典B 改訂版』（三省堂） |

2 評価の観点の趣旨

| 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 |
|---|---|------------------------------------|
| 古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。 | まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め知識を身に付けている。 |

3 学習計画

| 学期 | 月 | 教材 | 時配 時間当 | 学習のねらい |
|---------|------------|---------------|-----------|--|
| 1 学期 | 4月 5月 | 「枕草子」 | 5 | 筆者の美意識やものの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。 |
| | | 「不顧後患」 | 3 | 比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。 |
| | 6月 7月 | 「不死之薬」 | 3 | 話の展開を整理し、登場人物の言動などを的確に読み取り、話のおもしろさを味わう。 |
| | | 「三国志」の世界 | 7 | 話の内容を的確に読み取り、登場人物の心情を考えるとともに、その人間像を読み比べる。 |
| | | 「源氏物語」 | 8 | 登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。 |
| 2 学期 | 9月 | 「蜻蛉日記」 | 7 | 作者の生活や心情を読み取るとともに、当時の社会制度や平安女流日記文学の特徴を理解する。 |
| | 10月 11月 | 段成式「葉限」 | 5 | 話の展開を的確に読み取るとともに、登場人物の心情を理解し、話のおもしろさを味わう。 |
| | | 「大鏡」 | 8 | 歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取るとともに、歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。 |
| | | 司馬遷「史記」 | 8 | 話の展開を読み取るとともに、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を読み味わう。 |
| | 12月 | 紀貫之「古今和歌集仮名序」 | 3 | 歌論を読み、筆者の和歌に対する感じ方や考え方を理解する。 |
| | | 源俊頼「俊頼髓脳」 | 5 | 歌論で扱われている和歌の修辞法について理解する。 |
| 3 学期 | 1月 | 世阿弥「風姿花伝」 | 4 | 能楽論に示された筆者の主張を読み取り、その特色を理解するとともに、自分自身の考え方を深め、視野を広げる。 |
| | | 柳宗元「捕蛇者説」 | 4 | 筆者の論旨を的確に理解し、自己のものの見方や考え方を豊かにする。 |

令和5年度 古典探求 年間指導計画

| | | | | | |
|---------|---|-----|-----|----|------------|
| 科目 | 古典探求 | 単位数 | 3単位 | 学年 | 普通科 3年2・3組 |
| 使用教科書 | なし | | 副教材 | なし | |
| 学習の到達目標 | 1. 大学入試共通テスト対策の問題演習を通して、大学入試共通テストに対応する学力を養う。 2. 古典に用いられている語句の意味や用法、表現上の特色や構造への理解、文章に表れた思想や感情の読み取りなどを通して、国語についての認識を高め、言語感覚を養う。 3. 優れた表現に親しみ、古典文学の世界と現代世界のつながりを感じ取る。 4. 古典に表れたその時代の思想や感情に触れ、自らのものの見方、感じ方、考え方を豊かにするとともに、古典に親しむ態度を身に付ける。 | | | | |

| 学期 | 月 | 単元 | 時間 | 教材 | 学習活動のポイント |
|----|-----|-----------|----|-------|---|
| 1 | 4月 | 共通テスト演習 | 9 | 演習問題 | ・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。 ・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。 |
| | 5月 | 共通テスト演習 | 12 | 演習問題 | ・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。 ・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。 |
| | 6月 | 共通テスト演習 | 12 | 演習問題 | ・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。 ・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。 |
| | 7月 | 共通テスト演習 | 9 | 演習問題 | ・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。 ・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。 |
| 2 | 9月 | 共通テスト演習 | 12 | 演習問題 | ・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。 ・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。 |
| | 10月 | 共通テスト演習 | 12 | 演習問題 | ・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。 ・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。 |
| | 11月 | 共通テスト演習 | 12 | 演習問題 | ・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。 ・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。 |
| | 12月 | 共通テスト演習 | 12 | 演習問題 | ・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。 ・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。 |
| 3 | 1月 | 共通テスト演習 | 9 | 過去問題 | ・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。 ・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。 |
| | 2月 | 共通テスト振り返り | 6 | 今年度問題 | ・文章を読解する能力を身につける。／・和歌の修辭法を理解する。 ・敬語表現を理解する。／・限られた時間で読解する力を身につける。 |

令和5年度 国語表現 年間計画

| | | | | | |
|-------|--|-----|-----|-------------|-----------|
| 教科 | 国語 | 単位数 | 2単位 | 学科・学年・コース・組 | 普通科3年2・3組 |
| 使用教科書 | 『国語表現 改訂版』（教育出版） | | | | |
| 副教材等 | 『国語表現 改訂版 演習ノート』（教育出版）、『小論文頻出テーマチェック&ワーク』（第一学習社） | | | | |

1 学習の到達目標

- ①「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習をバランスよく取り入れたうえで、「読むこと」との関連も視野に入れ、適切に表現する力を育成し、伝え合う力を高めるための、表現する側と表現される側と双方からの立場での実践的なコミュニケーション学習を中心に、高等学校でのすべての学習を支える基礎力を養う。
- ②伝え合う力を高めるための実践的なコミュニケーションを想定した学習を中心に、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、すすんで表現する態度を身につけ、社会性を高める。

2 主な評価方法 発表・提出物・作品応募

3 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

A：話すこと・聞くこと B：書くこと C：読むこと ★〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕

| 月 | 単元名 | 領域 | 主な学習活動（指導内容）と評価のポイント |
|----|------------------------|----|---|
| 4 | オリエンテーション | A | ・客観的に自己を見つめ、他者に伝わるように説明をする。 ・相手の話を聞き、相手を理解する。 |
| | ことばに変える | B | ・速く正確に、書かれたとおりに書き写す・聞いた通りに書き取る。 ・メモを取る／メモで伝える／適切なメモ・絵をことばにする／絵をことばに変える／部屋の間取りをことばに変える |
| 5 | 声の表現 | A | ・「書くこと」の中でも最も基礎的な「視写」「聴写」を行い、自己の表現能力の実態を把握する。 |
| | | B | ・情報を取捨選択し、整理・記録する為の基本的な技術を確認する。 ・絵や部屋の間取りをことばに変える作業を通して、ことばによる表現の可能性と限界を理解する。 |
| 6 | コラムを書く、本を作る | A | ・呼吸の仕組みと腹式呼吸の方法について理解し、発音に留意した声の出し方を学ぶ。 |
| | | B | ・声が発することの本質について深く考える。 ・古文の読み方についても基本となる留意事項を理解する。 ・文の構造を把握し、その意味を伝える音読の仕方、特に声の高低や間の工夫について学ぶ。 ・スピーチのための事前準備について理解し、実際に本番を体験することで、その方法を学ぶ。 ・他者の興味関心をひく文章の紹介と朗読の工夫について習熟する。 |
| 7 | ことば遊びと創作 | A | ・他者を喜ばせる文章の特性を知る。 ・コラムを読み、文章の魅力と効果的な手法を見つける。 |
| | | B | ・よりよい文章表現を工夫し、コラムを書く。 ・基礎的な推敲の方法について理解する。（悪文チェック） ・「17歳のメッセージ」等への応募 |
| 9 | ことばと人間 | A | ・様々なことば遊びの体験を通して、言語表現の多様な側面を理解し、またその楽しさを知る。 |
| | | B | ・川柳という伝統的な文芸ジャンルについて理解を深めるとともに、実作を通して、ことばの持つ批評性を知る。 |
| 10 | 小論文・レポートを書く | A | ・情報化社会における広告の意味とその特徴を理解し、「広告ポスター」を作成することで情報を客観的にとらえ、批評的に読み取ることを学ぶ。 ・古典文学への誘いとして、俳句の季語を著名な句の鑑賞とともに学び、創作・作品応募する。 |
| | | B | ・ことばのもつ順序性からことばの性質について考える。 ・単語の順序が意味決定を左右することを理解する。 ・場面における意味決定について理解する。 ・語源カードを作成し、辞書・辞典を使って語源調べを行う。 ・挨拶や待遇表現のことばが人間関係の調整にどのように働いているか考える。 ・ことばの可能性と危険性についてさまざまな角度から考える。また、ことばが人間の命を左右するほどの力を持つことを理解する。 |
| 11 | 会話・会議・発表 | A | ・発想・着想段階における拡散的思考を体験的に学ぶ。 ・小論文の構成について理解し、論理的文章力を実践的に高める。 |
| | | B | ・根拠を明確にし、意見に説得力を持たせるとともに、対立意見を想定しながら、自らのそれを明確にし、論証の確かさを鍛える。 |
| 12 | 自己との対話 | A | ・実際に小論文を執筆して文集にまとめると同時に、他者との相互批評をとおして問題意識や認識を深める。 ・執筆以前の調査や研究の流れを理解し、集めた情報を適切に整理した上で、実際にレポートを書く。 |
| | | B | ・書きことばと話しことばの相互変換作業によって、効果的なコミュニケーション技能に習熟する。 ・家族会議の記録を題材に、意思決定・合意形成のための方法やルールについて理解を深める。 ・話しことばの対面コミュニケーションとしての特長を生かした表現技術を学び、効果的な情景の提示方法などについても習熟する。 ・多数決という意思決定の原理について確認する。 |
| 1 | 世界との対話 | A | ・年譜作成をとおして、時代や社会の動きと自己の体験を対比し、その関係について考える。 |
| | | B | ・モノに付着している「記憶」＝物語を読み取る。 ・過去の体験に結びつく材料を通して、埋もれていた「記憶」を言語化する。また、ズームアップ7の学習を通じて、自分の過去を記録することについての考えを深める。 ・ルソー『告白』を読み、自分史を書くことの意義と方法について考え、理解を深める。 ・自分史を読み合い、相互批評する。 |
| 2 | 情報の海を航海する（メディアのリテラシーへ） | A | ・伝統的な手紙の形式を学び、場面に応じたことばの意味について理解を深める。 |
| | | B | ・形式にとらわれない手紙を書くことで、表現の可能性について考える。また、自分らしい手紙の姿を探る。 ・面接における必要な心構えと技能を身につける。 ・自己分析を行い、自己演出を意識して面接という場面における表現のあり方について理解を深めるとともに、表現方法を工夫する。 ・社会の問題に目を向け、実際に投書することで、自己のことばを社会に発信する表現行為そのものを実践する。 |
| 2 | 情報の海を航海する（メディアのリテラシーへ） | A | ・わたしたちの表現手段には実にさまざまなメディアが存在することを知り、その特性について理解する。 |
| | | B | ・同一の対象についての記事でもその表現内容に違いが現れることを理解し、メディアが立場の違いをメッセージに反映させていることを理解する。 ・情報を発信する場合には、読み手が理解しやすいようにメディアの特性を生かした編集上の工夫が必要であることを理解し、実際に表現してみる。 |